

令和3年度事業計画

〔芸術文化センター関係〕

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来14年間^①県民（ファン）の熱い支持を得ながら^②新たな試みに挑戦・成長し続け、^③継続して好調さを維持しながら、昨年は開館15周年を迎えることができ、^④震災からの文化の復興の拠点となる本格的な舞台芸術専門劇場として創造的復興の具体的姿を発信してきた。

令和3年度においても、^①県民の幅広い期待に応えるため、これまでの実績を踏まえた多彩で豊富なメニューを提供し、^②人々が元気で輝き続ける劇場（みんなの広場）であり続けるとともに、^③街のにぎわいを創出することにより、県民生活の質的向上・地域創生の一翼を担っていく。

これからも^①安全・安心・快適のための基盤整備（ハード）をはじめ、^②長期的な県収支フレーム（予算）をベースに継続的な充実財源の確保、^③選べる“楽しさ”の展開（ソフト）による「にぎわい」の安定・継続、^④優れた人材の確保による運営体制の継続を通じて、開館20周、さらにその先においても活気ある劇場を実現する。

〔事業展開の基本コンセプト〕

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を策定し、感染症対策の徹底
- ② 「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」として委嘱した専門家による感染症対策の監修

芸術文化センターの運営

1 芸術文化センター事業

(1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
喜歌劇「メリー・ウィドウ」 (新制作15作目) (全3幕/日本語上演・日本語字幕付き/改訂新制作) (公財)花王芸術・科学財団助成 [(公財)三菱UFJ信託芸術文化財団助成(申請中)]	3. 7. 16 ～7. 25 (8公演)	演 出：広渡 勲 美 術：サイモン・ホルズワース 指 揮：佐渡 裕 衣 裳：スティーヴ・アルメリーギ 照 明：沢田祐二 振 付：川西清彦 出 演： (ダブルキャスト) ハンナ・グラヴァリ＝高野百合絵、並河寿美 ダニロ・ダニロヴィッチ＝黒田祐貴、大山大輔 ミルコ・ツェータ＝折江忠道、片桐直樹 ヴァランシエンヌ＝高橋維、市原愛 晴雅彦、河野鉄平、清水華澄、森雅史、水口健次、ほか (以下、シングルキャスト) ニエグシュ＝桂文枝 シルヴィアーヌ＝香寿たつき ほか 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団ほか

		〔関連公演〕4事業 11公演 ＊「ハイライトコンサート～ええとこどり！」 県内4会場(稲美町4/18、洲本市4/24、小野市5/15、 丹波篠山市5/16)と芸文センター(4/15～17)で実施 ＊ワンコイン・プレ・レクチャー(同日2回) 5/26(講師:中村敬一、出演:高野百合絵、ほか) 6/24(講師:小宮正安) ＊前夜祭7/15(高松公園)主催:西北活性化協議会
ジルヴェスター・コンサート ＊冠協賛:アサヒグループホールディングス株式会社 H20年から14回目 協賛継続要望中	3. 12. 31 (1公演)	指揮:鈴木優人 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		2事業 9公演

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 他館との連携による自主制作オペラ事業 (阪急 中ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
オペラ「夕鶴」 (全1幕/日本語上演・日本語字幕)	4. 3. 20 ～21 (2公演)	音楽:團伊玖磨 作:木下順二 指揮:栗辻聡 演出:岩田達宗 出演:つう=石橋栄実、老田裕子 与ひょう=清水徹太郎、中川正崇 (以上、ダブルキャスト) 運ず=晴雅彦 惣ど=松森治 管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 制作:兵庫県立芸術文化センター 連携:東大阪市文化創造館(4/2 東大阪公演共催)
合 計		1事業 2公演

(3) 独自の企画制作・プロデュースによる演劇公演/兵庫県ゆかりの古典芸能 (阪急 中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンも発掘

演 目	公演年月日	出演者等	
古典芸能 (河内特別参与企画)	BUNRAKU 和と洋で聴く シューベルトの「魔王」 (神戸女学院小ホール)	3. 6. 26 (1公演)	【第1部】 出演:皆川隼人(チェロ) 【第2部】 出演:豊竹呂太夫(義太夫)、河野克典(バリトン) 総合司会:河内厚郎(兵庫県立芸術文化センター特別参与)
	文楽 in Hyogo 「義士 銘々伝 弥作鎌腹の段」	3. 7. 7 (1公演)	出演:吉田和生、竹本千歳太夫、細川貂々 ほか

古典芸能	ひょうごの民俗芸能祭 ～五国のまつりと城めぐり～	3. 11. 6 (1公演)	総合プロデューサー：田辺真人（園田学園女子大学名誉教授） 内 容：兵庫県の伝統芸能の多様性と豊かさを県民に紹介
合 計		3 事業	3 公演

(4) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール

	演 目	公演年月日	出演者等
世界の巨匠	ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 3 (1公演)	ピアノ：ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー
	ベルチャ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	3. 6. 18 (1公演)	出 演：ベルチャ弦楽四重奏団
	ダン・タイ・ソン (KOBELCO 大ホール)	3. 6. 23 (1公演)	ピアノ：ダン・タイ・ソン
	グザヴィエ・ドウ・メストレ (KOBELCO 大ホール)	3. 9. 10 (1公演)	ハープ：グザヴィエ・ドウ・メストレ
	ダニエル・ゼペック & タベア・ツィンマーマン & ジャン＝ギアン・ケラス トリオ (神戸女学院小ホール)	3. 9. 20 (1公演)	ヴァイオリン：ダニエル・ゼペック ヴィオラ：タベア・ツィンマーマン チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス
	ハインツ・ホリガーと仲間たち (神戸女学院小ホール)	3. 10. 3 (1公演)	出 演：ハインツ・ホリガー（オーボエ） 他
	クリスチャン・ツィメルマン (KOBELCO 大ホール)	3. 11. 3 (1公演)	ピアノ：クリスチャン・ツィメルマン
	ミハイル・プレトニョフ (KOBELCO 大ホール)	3. 11. 23 (1公演)	ピアノ：ミハイル・プレトニョフ
	エマニュエル・パユ & バンジャマン・アラール (神戸女学院小ホール)	3. 12. 3 (1公演)	フルート：エマニュエル・パユ チェンバロ：バンジャマン・アラール
	フォーレ四重奏団 (神戸女学院小ホール)	3. 12. 11 (1公演)	出 演：フォーレ四重奏団

日本を代表する音楽家たち	京都市交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 18 (1公演)	指 揮：広上淳一 ヴァイオリン：金川真弓 管弦楽：京都市交響楽団
	河村尚子 (神戸女学院小ホール)	3. 4. 25 (1公演)	ピアノ：河村尚子
	仲道郁代 (KOBELCO 大ホール)	3. 5. 23 (1公演)	ピアノ：仲道郁代
	宮田大&大萩康司 (神戸女学院小ホール)	3. 7. 1 (1公演)	チェロ：宮田大 ギター：大萩康司
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤーコンサート (神戸女学院小ホール)	4. 1. 6 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	河村尚子シュューベル ト・プロジェクト第1回 (神戸女学院小ホール)	4. 3. 25 (1公演)	ピアノ：河村尚子
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (KOBELCO 大ホール)	3. 5. 5 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	三浦謙司 (神戸女学院小ホール)	3. 5. 12 (1公演)	ピアノ：三浦謙司
	ノトス・カルテット (神戸女学院小ホール)	3. 7. 3 (1公演)	出 演：ノトス・カルテット (ピアノ四重奏)
	三浦一馬&上野耕平 &山中惇史 (神戸女学院小ホール)	3. 7. 4 (1公演)	バンドネオン：三浦一馬 サクソフォン：上野耕平 ピアノ：山中惇史
	のだめカンタービレの音楽会 [関西テレビ共催] (KOBELCO 大ホール)	3. 7. 31 ～8. 1 (2公演)	管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
	トリオ・アコード (神戸女学院小ホール)	3. 10. 30 (1公演)	ヴァイオリン：白井圭 チェロ：門脇大樹 ピアノ：津田裕也
	アレクサンドル・タロ ーのサティ (神戸女学院小ホール)	3. 11. 12 (1公演)	ピアノ：アレクサンドル・タロー 他
	キアロスクーロ・カル テット (神戸女学院小ホール)	4. 2. 22 (1公演)	出 演：キアロスクーロ・カルテット (弦楽四重奏)
	テレマン室内オーケ ストラ (神戸女学院小ホール)	4. 3. 10 (1公演)	出 演：テレマン室内オーケストラ
	関西二期会 オペラ「ド ン・ジョヴァンニ」 [関西二期会共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 3. 12 ～13 (2公演)	指 揮：小林資典 演 出：高岸未朝 管弦楽：大阪交響楽団
合 計			26事業 28公演

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急 中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開

	演 目	公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等（良質な作品制作実績のある公共劇場との連携）	パンドラの鐘 *東京芸術劇場との連携	3. 5. 13 ～15 (3公演)	演出：熊林弘高 出演：門脇麦、金子大地、柁木玲弥、松尾論、緒川たまき ほか
	東京ゴッドファーザーズ *新国立劇場との連携	3. 6. 11 ～12 (3公演)	演出：藤田俊太郎 出演：調整中
	ハリネズミ *りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館との連携	3. 6. 26 ～27 (2公演)	演出：笹部博司 出演：渡辺徹、内博貴
	未練の幽霊と怪物 *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	3. 7. 3 ～4 (3公演)	演出：岡田利規 出演：森山未来、栗原類、片桐はいり ほか
	森 *世田谷パブリックシアターとの連携	3. 8. 6 ～8 (3公演)	演出：上村聡史 出演：調整中
	近松心中物語 *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	3. 10. 8 ～10 (3公演)	演出：長塚圭史 出演：田中哲司、松田龍平、朝海ひかる ほか
	息子 *東京芸術劇場との連携	3. 10. 15 ～17 (4公演)	演出：ラディスラス・ショラー 出演：調整中
	彼女を笑う人がいても *世田谷パブリックシアターとの連携	3. 12. 29 ～30 (3公演)	演出：栗山民也 出演：瀬戸康史、木下晴香 ほか
	近藤芳正 solo work 「ナイフ」 *水戸芸術館との連携	4. 2. 11 (1公演)	演出：山田佳奈 出演：近藤芳正
	マーキュリー・ファー *世田谷パブリックシアターとの連携	4. 2. 25 ～27 (4公演)	演出：白井晃 出演：吉沢亮、北村匠海 ほか
ラビット・ホール *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	4. 3. 11 ～13 (3公演)	演出：小山ゆうな 出演：調整中	

演劇・ミュージカル等 (幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目)	加藤健一事務所 「ドレッサー」	3. 4. 25 (1公演)	出 演：加藤健一 ほか
	もしも命が描けたなら	3. 9. 2 ～5 (5公演)	演出：鈴木おさむ 出演：田中圭 ほか
	検察側の証人	3. 9. 17 ～20 (4公演)	演出：小川絵梨子 出演：調整中
	Home, I' m Darling	3. 11. 12 ～14 (4公演)	演出：白井晃 出演：鈴木京香 ほか
	ドクター	3. 12. 2 ～5 (5公演)	演出：栗山民也 出演：調整中
	ナイロン100℃ (演目未定)	3. 12. 17 ～19 (3公演)	演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：犬山イヌコ ほか
	二兎社「鷗外の怪談」	4. 1. 8 (1公演)	演出：永井愛 出演：松尾貴史、木野花 ほか
ミュージカル	ブロードウェイと銃弾 (東宝) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	3. 6. 4 ～6 (4公演)	演出：福田雄一 出演：城田優、高木雄也 ほか
	17 AGAIN (ホリプロ) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	3. 6. 11 ～13 (4公演)	演出：谷賢一 出演：竹内涼真 ほか
	クラスアクト	4. 2. 22 ～23 (2公演)	演出：西田直木 出演：調整中
伝統芸能	茂山狂言会	3. 4. 4 (2公演)	出 演：茂山千五郎、茂山七五三、茂山あきら ほか
	Cutting Edge Kyogen	3. 7. 31 (2公演)	出 演：茂山千五郎 ほか
	万作萬斎狂言	3. 10. 19 ～20 (2公演)	出 演：野村万作、野村萬斎 ほか
	淡路人形浄瑠璃特別公演	4. 1. 22 (1公演)	出 演：：淡路人形座

落 語 会	柳家小三治	3. 5. 21 (1公演)	出 演：柳家小三治
	笑福亭松喬	3. 6. 19 (1公演)	出 演：笑福亭松喬
	柳家喬太郎	3. 7. 22 (1公演)	出 演：柳家喬太郎
	桂 吉弥	3. 8. 1 (1公演)	出 演：桂吉弥
	桂 文珍	3. 10. 2 ～3 (2公演)	出 演：桂 文珍
	特選落語競演会	3. 11. 23 (2公演)	出 演：桂南光、桂吉弥 ほか
	笑福亭鶴瓶	調整中 (2公演)	出 演：笑福亭鶴瓶
舞 踊 ・ ダ ン ス	コンドルズ	3. 10. 23 (1公演)	出演：コンドルズ
合 計 3 3 事業 8 3 公演			

③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

	演 目	公演年月日	出演者等
世 界 音 楽 図 鑑	東西の祈りの音楽 (KOBELCO 大ホール)	3. 10. 5 (1公演)	真言宗声明：九州真言宗教師連合法親会 古楽アンサンブル：コントラポント金管四重奏団
	ケルティック・クリスマス アヌーナ&ダーヴィッシュ (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 2 (1公演)	出 演：アヌーナ、ダーヴィッシュ 他
	ドリーマーズ・サーカス ～アンデルセンコンサート (阪急中ホール)	3. 6. 13 (1公演)	出 演：ドリーマーズ・サーカス

世界音楽図鑑	灼熱のタランテラ イ タリア (阪急中ホール)	3. 9. 23 (1公演)	出 演:カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ
	カニサレス (フラメン コ・ギター) スペイン (神戸女学院小ホール)	3. 8. 8 (1公演)	ギター:カニサレス 他
	スヴェング (ハーモニ カ) フィンランド (神戸女学院小ホール)	3. 11. 21 (1公演)	ハーモニカ:スヴェング
古楽の愉しみ	クリスティアン・ベザイデ ンホウト (神戸女学院小ホール)	3. 6. 2 (1公演)	チェンバロ:クリスティアン・ベザイデンホウト
	マリアン・コンソート (神戸女学院小ホール)	3. 9. 25 (1公演)	ア・カペラ:マリアン・コンソート
	レ・ヴォワ・ユメーヌ (神戸女学院小ホール)	3. 10. 2 (1公演)	出 演:レ・ヴォワ・ユメーヌ
	平崎真弓&クリスティア ン・ベザイデンホウト (神戸女学院小ホール)	3. 10. 17 (1公演)	バロック・ヴァイオリン:平崎真弓 フォルテピアノ:クリスティアン・ベザイデンホウト
	ロナルド・ブラウティハム (神戸女学院小ホール)	3. 11. 13 (1公演)	フォルテピアノ:ロナルド・ブラウティハム
	ジャン・ロンドー&トーマ ス・ダンフォード (神戸女学院小ホール)	3. 12. 5 (1公演)	チェンバロ:ジャン・ロンドー リュート:トーマス・ダンフォード
川口成彦 (神戸女学院小ホール)	4. 2. 27 (1公演)	フォルテピアノ:川口成彦	
クリスマス・ジャズ・フェスティバル	渡辺貞夫 (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 5 (1公演)	出 演:渡辺貞夫 (アルトサククス) 他
	オールスター・ジャムセ ッション! 特別版 (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 11 (1公演)	出 演:日野皓正 (トランペット)、 峰厚介 (テナーサククス) ほか
	アロージャズオーケス トラ&東京キューバン ボーイズ (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 25 (1公演)	出 演:アロージャズオーケストラ、 東京キューバンボーイズ
	北村英治カルテット (神戸女学院小ホール)	3. 12. 15 (1公演)	出 演:北村英治 (クラリネット) ほか
	アトリエ澤野スペシャル (神戸女学院小ホール)	3. 12. 17 (1公演)	出 演:調整中
	黒田卓也 (阪急中ホール)	3. 12. 21 (1公演)	出 演:黒田卓也 (トランペット)

Catchシリーズ	森本隼太 (KOBELCO 大ホール)	3. 11. 6 (1公演)	ピアノ：森本隼太
河村尚子シューベルト・プロジェクト	河村尚子 シューベルト・プロジェクト第1回 (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 3. 12 (1公演)	ピアノ：河村尚子
子ども向けコンサート	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (再掲)	3. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
合 計 2 2事業 2 2公演			

(5) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
竹澤恭子	3. 10. 16 (1公演)	ヴァイオリン：竹澤恭子 ピアノ：津田裕也
日下紗矢子&ベルリン・コンチェルトハウス室内オーケストラ	3. 12. 4 (1公演)	出演：ベルリン・コンチェルトハウス室内オーケストラ ヴァイオリン：日下紗矢子
アレクサンダー・コ布林	3. 12. 12 (1公演)	ピアノ：アレクサンダー・コ布林
ネマニャ・ラドウロビッチ & ドゥーブル・サンス	3. 12. 19 (1公演)	ヴァイオリン：ネマニャ・ラドウロビッチ 弦楽合奏：ドゥーブル・サンス
侍ブラス	4. 3. 6 (1公演)	金管八重奏：侍ブラス
合 計 5事業 5公演		

(イ) ワンコイン・コンサート（入場料 500 円）（KOBELCO 大ホール）

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざす。

出演者	公演年月日	出演者等
小林祐太郎(ファゴット)	3. 4. 13 (1公演)	1992 年、千葉県八千代市出身。東京音楽大学卒業。大学在学中に市川市文化振興財団 第 25 回新人演奏家コンクール管打楽器部門 優秀賞、第 12 回東京音楽大学コンクール管打楽器部門第 3 位をそれぞれ受賞。卒業時に第 18 回ヤマハ新人演奏会木管部門出演。2015 年小沢征爾音楽塾オペラ・プロジェクト参加。これまでにファゴットを井上俊次、霧生吉秀、水谷上総の各氏に師事。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団第一ファゴット奏者。
儀間太久実(口笛)	3. 5. 14 (1公演)	2006 年 第 1 回全日本口笛音楽コンクールで準グランプリ。2007 年 アメリカの国際口笛大会インターナショナル・ウィラーズ・コンベンションのティーンカテゴリーにおいて、ポピュラー・クラシック部門共に 1 位を獲得し、総合優勝。日本口笛音楽協会理事。関西学院大学総合政策学科卒業。 2007 年佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「魔笛」前夜祭（西北活性化協議会主催）出演。
佐々木賢二(チェロ) PACオーケストラ	3. 6. 22 (1公演)	インターロックンアーツアカデミー、イーストマン音楽院を卒業。クリーヴランド音楽院で修士課程修了と共にスズキメソード教員資格を取得。日野俊介、クリスピン・キャンベル、アラン・ハリス、ステイブ・ゲバー、岩崎洸の各氏に師事。レナード・スラットキン、リッカルド・ムーティなどの指揮のもと首席で演奏。アスペン音楽祭、ナショナルレパートリーオーケストラ、PMF、それぞれに全額奨学金で参加。ファイアーランドシンフォニーオーケストラ、シビックオーケストラ・オブ・シカゴ、それぞれで首席を務める。現在、兵庫芸術文化センター管弦楽団にてフォアシュペーラーを務める。
萬谷衣里 (ピアノ)	3. 8. 6 (1公演)	大阪市出身。京都堀川音楽高校、東京藝術大学器楽科卒業、同大学大学院修士課程を修了。 ドイツ国立ロストック音楽演劇大学ピアノ科および室内楽科を卒業。ロームミュージックファンデーション、ヤマハ音楽振興会より奨学金を得る。リスト国際ピアノコンクール最高位、はじめ国際コンクール入賞多数。ルーマニア国際音楽コンクール第 1 位。2009 年度音楽クリティック・クラブ奨励賞、2014 年度青山音楽賞「音楽賞」(現青山賞)を受賞。 現在ドイツ国立ロストック音楽演劇大学ピアノ科非常勤講師。
『クレモナ』モダンタンゴ・ラボラトリ(木管四重奏)	3. 9. 24 (1公演)	国内で唯一のプロの「モダン・タンゴ」専門の室内楽団。第 10 回横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門室内楽一般の部第 3 位、第 17 回大阪国際音楽コンクール室内楽部門入賞、第 23 回ブルクハルト国際音楽コンクールアンサンブル部門歴代最高位、第 2 回パンパシフィック現代音楽コンクールアンサンブル部門入賞。

白石優子(ソプラノ)	3. 10. 19 (1公演)	大阪音楽大学音楽部声楽学科卒業。第 18 回 ABC 新人コンサートに出演。第 7 回東京国際声楽コンクール一般声楽家部門奨励賞、第 26 回リトルカメリアコンクール大阪 21 世紀協会賞等受賞。2013 年みつなかホール“こころ街シリーズ”にて初のリサイタルを開催。堺シティオペラにてドヴォルザーク「ルサルカ」皇女役でオペラデビュー、プッチーニ「トスカ」タイトルロールなど。みつなかオペラではプッチーニ「外套」のジョルジェッタでプリマ・ドンナ役などに出演。現在、関西二期会、堺シティオペラ、宝塚演奏家連盟各会員。
福田えりみ(トロンボーン)	3. 11. 5 (1公演)	西宮市在住。令和元年 7 月には兵庫県内の小学生を対象としたアウトリーチ事業での演奏、兵庫県吹奏楽連盟主催、第 66 回兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会に於いて審査。9 月には一般社団法人山岡記念財団主催、大植英次による中学校、高校吹奏楽部公開レッスンコンサート尼崎公演に講師として出演。芦屋市立美術博物館において金管 5 重奏のコンサート開催。10 月には神戸市立北区民センター「すずらんホール」にて開催された「すずらんコンサート Vol. 56」に出演。
久末 航(ピアノ)	3. 12. 1 (1公演)	滋賀県出身。ドイツ・フライブルク音楽大学を最優秀の成績で卒業。ベルリン芸術大学大学院・現在同大学院 2 年次在学中。2009 年度青山音楽賞新人賞を史上最年少で受賞。平成 25 年度平和堂財団芸術奨励賞音楽部門受賞。2018 年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。第 32 回ピティナ・ピアノコンペティション Jr.G 級 金賞および読売新聞社賞・ソナーレ賞、第 7 回リヨン国際ピアノコンクール第 1 位および聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクール第 1 位および Deutscher Pianistenpreis 賞を受賞。第 66 回ミュンヘン国際音楽コンクール第 3 位、および特別賞受賞。シャネル・ピグマリオン・デイズ 2019 参加アーティスト。
葵トリオ(ピアノ三重奏)	4. 1. 26 (1公演)	東京藝術大学、サントリーホール室内楽アカデミー第 3 期生として出会い、2016 年に結成。2018 年第 67 回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門、日本人団体史上初の第 1 位。 ●小川響子(ヴァイオリン)スーパーキッズ・オーケストラ出身、奈良県橿原市出身。東京藝術大学大学院修士課程首席。東京音楽コンクール弦楽部門第 1 位、受賞多数。現在、ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー在籍。 ●伊東裕(チェロ)2012 年 3 月ワンコイン・コンサート出演、奈良県生駒市出身。日本音楽コンクールチェロ部門第 1 位。東京藝術大学音楽学部首席、同大学院に進学し、現在ザルツブルク・モーツァルテウム大学にて E・ブロンツィ氏に師事。 ●秋元孝介(ピアノ)2019 年 3 月ワンコイン・コンサート出演、西宮市出身。東京藝術大学、同大学院修士課程首席。第 2 回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール第 2 位、第 10 回パデレフスキ国際ピアノコンクール特別賞など。現在は東京藝術大学大学院博士後期課程にて研鑽を積んでいる。

崔 勝貴(サククス)	4. 2. 25 (1公演)	尼崎市出身。大阪音楽大学卒業、同大学大学院修士課程修了。同大学同窓会「幸楽会」主催による大学創立100周年記念ソロコンクールにおいて第1位、第1回堺学生管楽器ソロコンクールにおいて優秀賞受賞。第35回アゼリア推薦新人演奏会オーディションに合格し同演奏会に出演。平成27年度公益財団法人青山財団音楽奨学生。京都市交響楽団、日本センチュリー交響楽団などの客演奏者を務める。日本ウインドアンサンブル桃太郎バンド首席サクソフォン奏者ならびにサブコンサートマスター。大阪音楽大学、同大学附属音楽院、神戸山手女子高等学校音楽科各講師。
前田妃奈(ヴァイオリン)	4. 3. 26 (1公演)	豊中市出身。第67回全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位、併せて、東儀賞、免束賞、音楽奨励賞、毎日小学生新聞賞、ANA・副賞を受賞。2017年京都芸術祭音楽部門奨励賞を受賞。2015年金の卵ソリストオーディション18歳以下の部で合格し、ハマのJACKオーケストラと共演。第16回クロスター・シェンター国際ヴァイオリンコンクール第1エイジグループ(14歳以下)第1位、併せてヴィルティオーゾ賞、全部門の出場者中最高得点奏者に贈られるラインホルト・ウルト賞を受賞。2016年・2018年に霧島国際音楽祭賞、第88回日本音楽コンクール第2位、併せて岩谷賞を受賞。8歳より佐渡裕とスーパーキッズオーケストラに在籍。2017年度にはコンサートミストレスを務める。東京音楽大学附属高等学校2年に特別特待奨学生として在学中。
合 計		11事業 11公演

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業(ワンコイン・コンサート等)の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

(アドバイザー)

中村孝義(大阪音楽大学理事長)、響敏也(音楽評論家)、藤本賢市(神戸新聞社)、田中博子(毎日新聞大阪本社学芸部記者)

(ウ) ワンコイン・コンサートNO.1アーティスト アンコール・リサイタル

2020年の出演アーティストの中から選出(神戸女学院小ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
大谷雄一チェロリサイタル	4. 3. 4 (1公演)	大谷雄一(チェロ)
合 計		1事業 1公演

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝う芸文センター新企画のコンサート(KOBELCO大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
次年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	4. 1. 3 (1公演)	次年度ワンコイン・コンサート出演者
合 計		1事業 1公演

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客(裾野の拡大)をめざす。

演目	公演年月日	出演者等
喜歌劇「メリー・ウィドウ」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！	3. 4. 15 ～17 (3公演)	出 演：北野智子、端山梨奈、中川正崇、迎肇聡、 井原敏行 構成・ステージング：橋本恵史
	3. 4. 18 4. 24 5. 15 5. 16 (4公演)	稲美町立文化会館コスモホール 洲本市文化体育館 文化ホール 小野市うるおい交流館エクラホール 丹波篠山市立田園交響ホール
喜歌劇「メリー・ウィドウ」 ワンコイン・プレ・レクチャー (阪急中ホール)	3. 5. 26 (2公演)	講 師：中村敬一 (演出家) 出 演：高野百合絵、掛川歩美
	3. 6. 24 (2公演)	講 師：小宮正安 (ヨーロッパ文化史研究者・音楽評論家)
合 計		3 事業 11 公演 4 公演 (県内公演)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24年から10回目 協賛継続	3. 5. 22 (1公演)	指 揮：瀬山智博 出 演：古瀬まきを (ソプラノ)、谷浩一郎 (テ ノール)、太田糸音 (ピアノ) 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		1 事業 1 公演

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル (共催) (県域団体)

演 目	公演年月日	主催団体	
KOBELCO大ホール	第50回西宮市少年少女 合奏団定期演奏会 (記念演奏会)	3. 8. 20 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／西宮市少年少女合奏団
	2021年度兵庫県合唱 コンクール中学校・高 等学校の部(併催：小 学校の部)	3. 8. 21 (1公演)	兵庫県合唱連盟

KOBELCO大ホール	Cheer ボーイズ HyoGO!1 st コンサート 世界に届け！僕たち の全人類応援歌	3. 9. 11 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／Cheer ボーイズ HyoGO!
	ふれあいの祭典 「第48回兵庫県交響 楽祭」	3. 9. 12 (1公演)	兵庫県オーケストラ協議会
阪急中ホール	ふれあいの祭典 ひょうご演劇祭 演劇 「うちへ帰ろう」	3. 8. 21 (1公演)	兵庫県劇団協議会
	Dance と演劇 シェイク スピアに会いたく て「夏の夜の夢」より	3. 8. 22 (1公演)	兵庫県洋舞家協会
	ミュージカル「モンキ ーパラダイス」	3. 8. 29 (1公演)	姫路市文化国際交流財団／千城恵アーティスト・アカデミー
	中国現代劇「わが家の 客」(原題:「家客」)	3. 9. 25 (1公演)	兵庫県劇団協議会／(一社)劇団道化座
	ふれあいの祭典 ひょうご邦楽の祭典	3. 9. 26 (1公演)	兵庫県箏絃連盟
神戸女学院小ホール	男と女のカンツォー ネ	3. 8. 29 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／神戸オペラカンパニー
	第43回阪神ジュニア 音楽コンクール	2. 9. 19 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会／尼崎市文化 団体協議会
	第28回アルカディア 特別演奏会 －煌めキラヴリーコ ンサート－	2. 9. 26 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会／(公財)アルカ ディア音楽芸術財団
合 計		12事業	12公演

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急 中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
ファミリー劇場 「グリム兄弟！～みんな のメルヘン。聞かせてダン ケ～」	3. 12. 25 ～26 (3公演)	作 : 早船 聡 演 出: 平井久美子 音 楽: 園田容子 出 演: ピッコロ劇団員 ほか
兵庫県立ピッコロ劇団 第 72回公演 ピッコロシア タープロデュース「脚気に しやがれ」	4. 2. 18 ～2. 20 (5公演)	作・演出: G2 出 演: ピッコロ劇団員 ほか
合 計		2事業 8公演

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内41市町一巡達成 H26.4月)

- ① コアメンバー（10型2管）をベースに、レジデント・プレイヤーを加え12型（標準）、アシリエイト・プレイヤーを加え14型（大規模編成）にも安定的・フレキシブルに対応。
 - ② クオリティの高い演奏を提供するとともにアカデミーとしてコアメンバーをリードするため弦パート・トップ中心に「ゲストトップ」奏者（国内オーケストラ首席級）を招聘
 - ・芸術監督：佐渡裕
 - ・コンサートマスター：四方恭子、豊嶋泰嗣、田野倉雅秋
 - ・コアメンバー：14パート48人（10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜）
- （令和2年9.1現在：8カ国 14パート36人 平均年齢27.8歳）

*新型コロナウイルス感染症の影響で通常の公演活動が行えず、海外から指揮者・ソリスト・ゲスト奏者の招聘ができないなどアカデミー要素を十分に果たせないことから、現メンバーの契約期間を1年延長



*新メンバー（令和2年9月入団予定）の入団を1年延期
（2021～2022シーズン全世界オーディション中止）

① 演奏会活動

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

(ア) 定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡芸術監督を中心に一流の客演指揮者やソリストを招聘し、オーケストラの醍醐味を味わえる幅広いレパートリーで芸術性を追求する。

演 目	公演年月日	出演者等
〔2020-2021 シーズン〕 新型コロナウイルス感染症の影響で定期演奏会を中止（定期会員募集停止） → 公演数・内容を再編した特別演奏会を実施		
〔2021-2022 シーズン〕 第126回 イベール：フルート協奏曲	3. 9. 17 ～19 （3公演）	指 揮：佐渡 裕 フルート：スタティス・カラパノス
第127回 モーツァルト：ホルン協奏曲第3番	3. 10. 22 ～24 （3公演）	指 揮：川瀬賢太郎 ホルン：シュテファン・ドール
第128回 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲	3. 11. 26 ～28 （3公演）	指 揮：ユベール・スダーン ヴァイオリン：ヴィヴィアン・ハーグナー
第129回 マラー：交響曲第4番	4. 1. 14 ～16 （3公演）	指 揮：佐渡 裕 アーティスト：御喜美江 ソプラノ：石橋栄美

第130回 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲	4. 2. 11 ～13 (3公演)	指揮：シルヴァン・カルブルラン ヴァイオリン：ティモシー・リダウト
第131回 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲	4. 3. 18 ～20 (3公演)	指揮：ピエタリ・インキネン ヴァイオリン：川久保賜紀
第132回 調整中	4. 4. 14 ～16 (3公演)	指揮：井上道義
第133回 コープランド：クラリネット協奏曲	4. 5. 13 ～15 (3公演)	指揮：佐渡 裕 クラリネット：ラスロ・クティ
第134回 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番	4. 6. 10 ～12 (3公演)	指揮：下野竜也 ピアノ：プラメナ・マンゴーヴァ
合 計 6 事業 1 8 公演		

・平成20年度以降、国内で例のない同一演目・同一会場で毎回3回公演を継続実施

・2019-2020 シーズン定期会員数 4,303 (金曜1,373, 土曜1,522, 日曜1,408)

(イ) 特別演奏会

名曲コンサート、ファミリーコンサート、ポップスコンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を広げる。

演 目	公演年月日	出演者等
特別演奏会 PAC with ベートーヴェン 第3回 * 定期演奏会代替 (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 11 (1公演)	指揮：佐渡 裕
第37回名曲コンサート (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 24 (1公演)	指揮：原田慶太楼 ピアノ：上原彩子
特別演奏会 * 定期演奏会代替 (KOBELCO 大ホール)	3. 6. 19 ～20 (2公演)	指揮：井上道義
第38回名曲コンサート (KOBELCO 大ホール)	3. 10. 9 (1公演)	指揮：ハンスイェルク・シュレンベルガー
モーニングチェンバー ※PACメンバーの企画構成で取り組む朝の室内楽コンサート (神戸女学院小ホール)	調整中 (1公演)	出 演：PACコアメンバー
モーニングチェンバー (神戸女学院小ホール)	調整中 (1公演)	出 演：PACコアメンバー
リサイタル・シリーズ (神戸女学院小ホール)	調整中 (1公演)	出 演：PACコアメンバー
合 計 7 事業 8 公演		

(ウ) 室内楽演奏会（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現

演 目		公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ	第 67 回 弦楽器セクション	3. 5. 15 (1公演)	ヴァイオリン：田野倉雅秋
	第 68 回 木管楽器セクション	3. 6. 12 (1公演)	オーボエ：古部賢一
	第 69 回 金管楽器セクション	3. 6. 30 (1公演)	トランペット：菊本和昭
合 計		3 事業	3 公演

(エ) センター事業への出演 4 事業 12 公演（再掲）

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

② 体験教育・普及活動

(ア) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40 公演 [KOBELCO 大ホール]

兵庫県内の中学 1 年生（約 5 万人全員）を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育（体験教育）の振興を図る。

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力 ほか

【内 容】第 1 部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第 2 部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約 1 時間（70 分）

【時 期】令和 3 年 9 月 28 日（火）～令和 4 年 2 月 18 日（金）

(イ) アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団の PR を図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等）

*平成 29 年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ（公募により募集）を重点実施

(ウ) スーパーキッズ・オーケストラ公演 9 月 4 日（土）～5 日（日） KOBELCO 大ホール

③ 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へ PR（県内外からの依頼公演等）

(ア) 県内外ホールと連携した演奏活動

- (a) 佐渡裕芸術監督指揮によるシーズンオープニング・フェスティバルと同演目によるコンサート
- | | |
|---------------|---------------|
| 明石市（明石市民会館） | 9 月 20 日（月・祝） |
| 加西市（加西市民会館） | 9 月 22 日（水） |
| 多可町（ベルディーホール） | 9 月 23 日（木・祝） |

(イ) 幅広いニーズに対応した演奏活動

- (a) ファイナルファンタジー・オーケストラコンサート（大阪国際会議場） 4 月 17 日（土）～4 月 18 日（日）
- (b) 市立西宮高校創立 100 周年（KOBELCO 大ホール） 10 月 3 日（日）
- (c) 須磨学園（神戸国際会館） 11 月 4 日（木）

- (d) 1万人の第九(大阪城ホール) 12月5日(日)
(e) オペラde神戸「椿姫」(KOBELCO大ホール) 1月7日(金)～1月8日(土)
(ウ) 県議会議場コンサート 6月及び2月(6月及び2月県会開会日)

④ コアメンバー演奏力の強化

(ア) PACシーズンオープニング・フェスティバル(ミュージックキャンプ)

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め(9月)に国内外より著名な指導者陣(スペシャル・ゲスト・プレイヤー)を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る(ミュージックキャンプ)。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催(共同主催)することで、地域における音楽文化の発展に寄与する(フェスティバル)。

【時期】9月7日(火)～11日(土)5日間

*その直後の佐渡監督指揮第126回定期演奏会(9/17～9/19)に成果を繋げる

【会場】養父市文化体育館(仮称) *令和3年開館

【内容】①室内楽プログラム(スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ)

②オーケストラプログラム(指揮:佐渡芸術監督)

③アウトリーチコンサート

④リハーサル公開、マスタークラス等

【スケジュール】9月7日(火)～8日(水)結団式、シーティングオーディション等実施(芸術文化センター)

9月9日(木)～11日(土)オーケストラ練習、リハーサル、マスタークラス、公開リハ、オーケストラ公演、アウトリーチ(養父市)等 計1事業1公演

【出演】佐渡裕(指揮・芸術監督)

兵庫芸術文化センター管弦楽団(コアメンバー)

スペシャル・ゲスト・プレイヤー(予定)

- ・アントン・バラコフスキー(Vn バイエル放響コンマス)
- ・水島愛子(Vn PACミュージック・アドバイザー・元バイエル放響)
- ・オウイン・ギムゼ(Vc 元トロンハイム・ツロイツ芸術監督)
- ・ミガン・ステイフ(Cb オスロ・フィル副首席)
- ・クリストフ・ハルトマン(Ob ベルリンフィル)
- ・ハネス・ロビソン(Tp バイエル放響ソロ首席)
- ・ミヒャエル・ウラダター(Timp ウィーン響首席)

(開催地)平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市(中止)⇒令和3年養父市

(イ)世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘し(特別契約奏者当楽団との共演、指導(マスタークラス)により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

コロナ禍の影響により海外から特別契約奏者を招聘できなくなったので、オンラインマスタークラスを実施し、コアメンバーの技術力向上の場を確保。

＜ホール別の主催事業数・公演数＞

区分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	38 事業 53 公演	4 事業 4 公演	11 事業 25 公演	1 事業 40 公演	54 事業 122 公演
阪急 中ホール	41 事業 90 公演	7 事業 13 公演	—	—	48 事業 103 公演
神戸女学院 小ホール	28 事業 28 公演	3 事業 3 公演	6 事業 6 公演	—	37 事業 37 公演
小計	107 事業 171 公演	14 事業 20 公演	17 事業 31 公演	1 事業 40 公演	139 事業 262 公演
外部公演	4 公演	—	1 事業 1 公演	—	1 事業 5 公演
楽団外部依頼公演	—	—	9 事業 11 公演	—	9 事業 11 公演
計	107 事業 175 公演	14 事業 20 公演	27 事業 43 公演	1 事業 40 公演	149 事業 278 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注1〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

① 広報活動

(ア) 多面的な広報宣伝活動

(a) 記者発表等の情報発信

発売記者発表：センター事業の発売・イベントについて、原則毎月記者発表（資料配布）のほか、主な事業について個別制作発表・出演者記者会見を企画
広域的なPR、ファンの発掘・裾野拡大、安定的・継続的な有料入場者の確保を目指して積極的に展開

(b) 紙面広報

佐渡芸術監督をはじめ芸文センターへの取材要請に、全国紙、ミニコミ紙等へのきめ細かな対応・活用を図るとともに、自主広告との相乗効果を図る。

(c) 交通機関広報－ポスター活用－

京阪神中心に、阪急・JRの鉄道車両・駅にポスターを掲出

(d) 放送局等との共催

TV報道番組等での放送に取り組むとともに、共催型公演事業等による在阪マスコミ媒体を活用し、PR活動を推進

(イ) 自主媒体による展開

(a) 舞台芸術情報誌の発行

舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報を発信するため、情報誌を発行

- 【内容】 ・芸術文化センター事業特集
・イベント情報（音楽・演劇・舞踊等の各種イベントガイド）
・舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報
・舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報

【発行】 年2回／各60,000部

(b) 会報誌（公演案内リーフレット）の発行 毎月1回／40,000～55,000部

(c) ホームページの運営（<http://www.gcenter-hyogo.jp>）

施設、公演事業、楽団をPRするとともに情報交流を推進

【内容】 施設概要・公演案内・入場券購入・楽団情報 等

(d) メールマガジンへの情報発信

毎月1回：公演情報・楽団PR等の情報

(e) ツイッターの運用（H28.12運用開始）

①若年層に向けての広報と②広報の即時性の強化を図るため、タイムリーな公演基本情報等を発信

加えて、プロデューサーの魅力をお届けする新たなツイッターも開始（H29.2～）

(f) YouTube の運用（H25.11運用開始）

楽団ホームページ（<http://hpac-orc.jp/>）で、定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の楽団紹介映像を全世界に発信することで、①楽団のイメージアップを図るとともに、②国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進
コロナ禍への対応として、「HPAC すみれの花咲く頃 プロジェクト」、「わくわくOnline オーケストラ教室」を発信。

(ウ) 芸術文化センター会員制度（登録無料・先行予約）

【特典】 チケット先行予約（割引料金設定なし）

会報誌（公演案内リーフレット）・チラシの送付

【会員数】 51,508人（令和3年2月11日現在）

(エ) チケットオフィスの運営

毎月^①スタッフ 50 名、電話 35 台という全国で例のない充実したチケット予約受付体制をとるとともに、^②インターネット予約も拡充して受付、^③さらにチケット引取の利便性向上も図った(コンビニエンスストア発券手数料の無料化)

プロデュースオペラ、ワンコイン・コンサートでは^③プレイガイド特設電話を設置して、^①人気演目の公演回数増、^②バラエティ豊かなラインナップ、と並び^③取りにくいチケット予約・受取り体制の改善についての要望に対応

② 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップなどを実施

(ア) 公開リハーサル

(a) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

喜歌劇「メリー・ウィドウ」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

【日 程】令和 3 年 7 月 13 日 (火)、14 日 (水)

(b) 楽団「定期演奏会」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各 1 回、計 10 回]

(イ) ワークショップ

オペラ創造ワークショップ「メリー・ウィドウ」の制作アトリエ (KOBELCO 大ホール)

【日 程】令和 3 年 7 月 15 日 (木)

【登壇者】佐渡裕 (指揮・芸術監督)、ほか

(ウ) バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催

内 容		開催日
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2021		
第 1 回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	3. 5. 19 (2回)
第 2 回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	3. 8. 13 (2回)
第 3 回	なるほど「PAC オーケストラ」編	3. 9. 29 ~9. 30 (2回)
第 4 回	なるほど「阪急中ホール」編	3. 10. 21 (2回)
第 5 回	なるほど「建物と仕事人」編	3. 12. 8 (2回)
第 6 回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	4. 1. 18 (1回)
合 計		6 事業 11 回

(エ) 企画展示 (共通ロビー情報コーナー「ポッケ」)

(a) バレエ・コレクション企画展示 (年 2 回)

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

(b) 主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時期】令和3年7月（プロデュースオペラ 喜歌劇「メリー・ウイドウ」
ほか

(オ) 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出す。

4 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
- ・東日本大震災復興祈念等事業資金
 - センター職員が、外部の委員会（芸術文化関連）の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。
 - ① 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金 等
 - *第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500 千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300 千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386 千円）、大口の寄附金（H25:2,000 千円、H26:4,000 千円、H28:3,182 千円、H29:55,500 千円）等
 - *第44回神戸キワニス社会公益賞青少年ボランティア賞副賞（神戸キワニスクラブ 100 千円）
 - *委員謝金：38 件 1,399 千円、講師謝金：61 件 9,539 千円（H23～R 元）
 - ② 充当事業
 - (ア) スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
 - (イ) PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
 - (ウ) プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等
- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産
 - サントリーホールディングス(株)がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成26年度）いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成27年度から10年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）

5 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

① 施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

(i) 本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18 か月前受付）

毎月1日から18 か月後の月分を受付

(ii) 一般（貸館）利用受付

a ホール（12 か月前受付）

毎月1日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は4か月前の末日までに随時受付

【ホール利用計画】 令和3年4月～令和4年3月（令和3年3月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
	基準	計画	基準	計画	主催事業	貸館事業
					計画	計画
KOBELCO 大ホール	290	310	203 (70%)	270 (133.0%) [87.1%]	200 [74.1%]	70 [25.9%]
阪急 中ホール		308		241 (119.3%) [78.2%]	190 [78.8%]	51 [21.2%]
神戸女学院 小ホール		302		273 (134.5%) [90.4%]	73 [26.7%]	200 [73.3%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の()内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：利用日数（計画）と比較した利用率

b スタジオ、リハーサル室（3か月前受付）

毎月1日に3か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

* 舞台芸術専門スタッフによる公演サポート（創造支援）

舞台技術（舞台、音響、照明）専門スタッフをはじめ各部門の専門スタッフにより、施設利用者の創作・発表を企画段階から様々な角度より支援する。

(ア) 人材育成

(a) 舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー 9月）

- (b) アートマネジメント関係の人材育成
 - 将来を担う人材育成のための実践的なセミナーなどを業界関係者や大学等と連携して実施
 - a アートマネジメント講座の開催（2～3月）
 - アートマネジメントに必要な専門的知識・技術の習得を目的として開催
 - b 大学でのアートマネジメント講座
 - 大学「アートマネジメント講座」への講師派遣（通年）
 - 神戸女学院大学、大阪音楽大学等
 - c トライやる・ウィーク 中学2年生受入（5月～6月）
 - d 社会人研修受入

(イ) 地域連携・にぎわいづくり事業

- (a) プロデュースオペラ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」前夜祭（再掲）
 - 喜歌劇「メリー・ウィドウ」のロングラン公演の成功を祝い開催
 - 【時期】令和3年7月15日（木）
 - 【内容】①喜歌劇「メリー・ウィドウ」関連ミニステージ
 - ②前夜祭（高松公園）
 - 佐渡裕芸術監督指揮による観客全員で大合唱 ほか
 - 【主催】西北活性化協議会
- (b) <LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト 2021（第14回）>
 - “にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。
 - 【時期】令和3年11月2日（火）（阪急中ホール）（決戦）
 - （予選：令和3年5～10月実施）
 - 【内容】ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等
 - 【主催】西北活性化協議会
- (c) クリスマス・イベント
 - 【時期】令和3年12月（高松公園・芸術文化センター 1階メインエントランス）
 - 【主催】西北活性化協議会

* 地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

② 公立ホール等との連携

(ア) 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟36ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿地区支部長、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深める。

(イ) 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟21ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指す。

(ウ) 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

[参考]・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備。平成27年度予算に「調査費」2,000万円を計上。経済界では「音楽ホール建設基金」が始動。音楽関係者が「楽都・仙台に復興祈念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」を設立

- ・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。平成 28 年度建設工事着手。令和 2 年 10 月オープン
 - ・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館にかわる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成 27 年 2 月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成 27 年度設計業務着手。平成 29 年度着工、令和 3 年度供用開始予定
 - ・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成 27 年度基本計画策定。平成 28 年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和 4 年度開館予定
 - ・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャストィ 21 イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫路市文化コンベンションセンター」として令和 3 年度開館予定。
 - ・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成 30 年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成 29 年度）
- *その他、全国から視察を受入

③ 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで（3 年間） * 5 期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛称	金額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

④ 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

（ア）賛助会員制度

自主企画事業の充実、センター及び楽団の活動を広く県民に理解してもらうための広報宣伝などセンターの多彩な活動を支援いただくため、文化に関心を寄せる県内主要企業、地元企業等を対象に賛助会員を募る。（令和 3 年 2 月現在 18 社）

（a）特別賛助会員

ゴールド会員 年額 300 万円（1 社）・シルバー会員年額 100 万円（3 社）

【主な特典】

- ・ 2 階エントランスロビーでの社名掲示
- ・ 月刊会報誌（月 1 回：5 万部）への社名表記
- ・ 定期演奏会プログラムへの会社 P R 広告表記
- ・ 情報誌（年 2 回：6 万部）への会社 P R 広告表記
- ・ センターのホームページに社名を掲示、さらに会員のホームページにリンク

（b）賛助会員

年額 5 万円（1 口）（14 社 29 口）

【主な特典】

- ・ 情報誌（年 2 回：6 万部）への社名表記
- ※この他、いずれの会員も公演にご招待

（イ）各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努める。

*文化庁 文化芸術創造拠点形成事業、(独法) 日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 舞台芸術創造活動活性化事業、経済産業省 コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金 (J-LOD)」事業 ほか

(ウ) 民間支援の受入れ (主なもの)

- (a) NPO法人イエロー・エンジェル (理事長: 宗次徳二氏・名古屋市) による
コントラバスの無償貸与
コントラバス名: ヤナリス・ガリアーノ (1776年・イタリア製) ほか
- (b) 株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与

(エ) 多額寄附金の活用

Aloha Mimura 基金 (兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産)
三村正之氏が兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動への支援を目的に寄附(平成29年度)いただいた50,000千円を原資に平成29年度から5年を目途に音楽事業活動に充当

⑤ 中長期的取り組み

(ア) 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時期】 令和4年1月予定

【委員】 学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

(イ) 次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行う。

〔尼崎青少年創造劇場関係〕

尼崎青少年創造劇場は、①地域における文化創造の芽を育む舞台芸術創造活動の場の提供、②「子どもと楽しむ落語会」等伝統芸術系の青少年・子ども向け事業の展開、③「県立ピッコロ劇団」による良質な演劇を通じた感動の提供、④ピッコロ劇団員による学校現場等における表現活動の普及、⑤「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の運営による人材育成、⑥演劇等舞台芸術関係資料の閲覧・提供等を通じた県民の自主的な文化活動の促進に、重点的に取り組むとともに、県民にとって安全・安心、快適な施設を目指して、親切かつ効率的な運営を心がける。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、感染拡大予防ガイドラインに基づき、ハード・ソフト両面での予防措置を講じるなど、適時的確な取組を行う。

兵庫県立尼崎青少年創造劇場の運営

1 主催公演事業

① ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。また、毎年恒例の子どもと大人が一緒に楽しめる落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに伝統ある舞台芸術にふれる機会を提供する。

■事業予定 令和3年4月～4年3月ラインナップ〔9事業（演劇3、落語5、音楽1）〕

事業名	公演年月日	出演者等
いいむろなおきマймカンパニー 「オリンピアの夢」 (大ホール)	3. 4. 16(金)、 17(土)	作・演出=いいむろなおき 出演=いいむろなおきマймカンパニー
ピッコロ寄席「桂ざこば一門会」 (大ホール)	3. 5. 15(土)	出演=桂ざこば ほか
「紙芝居×室内楽 観て聴いて感じる グッドガール・シンシア」(仮) ※ (小ホール)	3. 6. 23(水)	出演=川端裕美(フルート)、 吉江麻樹 (紙芝居実演、ピッコロ劇団員) 紙芝居 作・画=風太郎(ピッコロ劇団員)
ピッコロ寄席 桂枝雀一門会 「南光・雀三郎 二人会」 (大ホール)	3. 8. 21(土)	出演=桂南光、雀三郎 ほか
シアタースタート 劇団風の子九州 「ハイハイ、ごろ～ん。」(0～1歳向け) ① 「ピーかぶー」(2～3歳向け) ② (中ホール)	3. 9. 10(金) (2公演)	出演=劇団風の子九州 ① 演出=川島二郎 ② 作=中島研、川島二郎、 構成演出=中島研
文学座公演 「熱海殺人事件」 (大ホール)	3. 9. 18(土)、 19(日)	作=つかこうへい 演出=稲葉賀恵 出演=石橋徹郎、上川路啓志、 奥田一平、山本郁子 ほか
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 (大ホール)	3. 12. 19(日)	出演=桂吉弥 ほか
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 (大ホール)	4. 2. 13(日)	出演=桂米團治 ほか
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	4. 3. 13(日)	出演=桂吉弥 ほか
合 計 9事業		

※ ピッコロ劇団第66回公演「夢をみせてよ」(R2.2.28～3.1)の関連企画として、介助犬の輪を広げることを目的にピッコロシアターが製作した紙芝居「グッドガール・シンシア」と“フルート演奏”とのコラボレーション企画。シンシアは車椅子生活を送る木村佳友さん(兵庫県宝塚市)の不自由な生活を支えた介助犬。

② 2021 ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を中心に約1カ月にわたり、地域で創造活動に取り組む若者たちの演劇、音楽、バレエなどの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、その鑑賞等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」（昭和53年から毎年開催※）を開催する。

※ 令和2年度は大規模改修工事により7・8月閉館のため中止、11月に予定していた「体感！ピッコロシアター～1日体験イベント～」についてはコロナ禍により中止。

【時 期】 令和3年8月4日（水）～8月29日（日）（予定）

【場 所】 ピッコロシアター・各ホール、閲覧室など

■ 事業内容（予定）

区 分	内 容
県民参加企画	演劇及びバレエ・モダンダンスについて参加団体を公募して開催 * 演劇：小・中・高の部、大学・一般の部、バレエ・モダンダンスの部 (舞台施設・設備を無償提供)
地域団体連携企画	〈阪神間など地域の文化団体組織と連携〉 「人形劇フェスタ阪神」「バリアフリーコンサート」 〈高校演劇研究会阪神支部と連携〉 高校生向け演劇ワークショップを開催 (企画運営は団体、舞台施設・設備を無償提供)
体験企画	〈関西二期会と連携〉 関西二期会オペラ研修所研修生によるオペラ公演及びオペラの解説・リハーサル見学等の体験機会を提供する「オペラ教室」を開催 〈伝統芸能の体験企画〉 大蔵流狂言方を講師に招いての「ちやっと！狂言～入門編～」を開催
特別企画	〈ピッコロフェスティバルの期間中の開催〉 ピッコロ劇団ファミリー公演、ピッコロ寄席など

2 自主公演事業

県立ピッコロ劇団事業

優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興を図るため、県立ピッコロ劇団を運営し、ピッコロシアターでの多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場など）や学校等での演劇指導等人材育成事業を展開する。また、第2の活動拠点である県立芸術文化センター（西宮市）では12月にファミリー劇場を、2月には関西の演劇人との合同によるプロデュース公演を上演する。

劇団代表： 岩松 了 （劇作家・演出家・俳優、第33回岸田國土戯曲賞、第28回紀伊國屋演劇賞個人賞、第49回読売文学賞、第21回鶴屋南北戯曲賞、平成30年度兵庫県文化賞を受賞）

客 員： 鶴山 仁（演出家＝前新国立劇場演劇芸術監督・文学座）

喜志 哲雄（演劇評論家・京都大学名誉教授）

杉本 了三（演劇プロデューサー）

内藤 裕敬（劇作家・演出家・俳優＝南河内万歳一座）

劇 団 員： 35名（男17名 女18名）（令和3年2月末現在）

(ア) 公演の実施予定

令和3年4月～4年3月のピッコロ劇団公演ラインナップ

※はピッコロ劇団員

事業名	公演年月日	出演者等
オフシアターVol.37 「もういちど、鴨を撃ちに」(注) (中ホール)	3. 4. 9(金) ～11(日) (5公演)	作=A.ヴァムピーロフ「鴨猟」 (宮澤俊一・五月女道子 訳 群像社) 台本・演出=島守辰明(※) 出演=ピッコロ劇団員
第70回公演 「スカパンの悪だくみ」(注) (大ホール)	3. 5. 23(日) ～6. 1(火) (6公演)	作=モリエール (訳=鈴木力衛 中央公論社) 台本=上原裕美(ピンクのレオタード) 演出=孫 高宏(※) 出演=ピッコロ劇団員
わくわくステージ 「スカパンの悪だくみ」(注) (第70回公演と同演目) (大ホール)	3. 5～6月 (公演数調整中)	
わくわくステージ 市町ホール公演 「スカパンの悪だくみ」(注) (開催ホール調整中)	(調整中)	
(注)上記2演目は、令和2年度にコロナ禍により公演中止となったもの		
ファミリー劇場 「グリム兄弟！～みんなのメルヘン、聞かせてダンケ～」 (大ホール)	3. 8. 7(土) ～8(日) (4公演)	作=早船 聡(サスペンデッツ) 演出=平井久美子(※) 出演=ピッコロ劇団員
わくわくステージ 「グリム兄弟！～みんなのメルヘン、聞かせてダンケ～」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	3. 11～12月 (公演数調整中)	12月公演 オーディションによる子ども達 が出演
ファミリー劇場 「グリム兄弟！～みんなのメルヘン、聞かせてダンケ～」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	3. 12. 25(土) ～26(日) (3公演)	
おでかけステージ(小学校公演) 「学校ウサギをつかまえろ」 (小学校体育館等)	3. 10月～11月 県内の小学校等での 上演	原作=岡田 淳 台本=眞山直則(※) 演出=吉村祐樹(※) 出演=ピッコロ劇団員
第71回公演 「いらないものだけ手に入る」 (大ホール)	3. 10. 9(土) ～14(木) (6公演)	作・演出=土田英生(MONO) 出演=ピッコロ劇団員
第72回公演 ピッコロシアタープロデュース 「脚気にしやがれ！ ～日本最悪の謎の病「脚気」奮闘記～」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	4. 2. 18(金) ～20(日) (5公演)	作・演出=G2 出演=ピッコロ劇団員ほか
合 計 9事業		

(参考) 鑑賞サポートの取組

本公演・ファミリー劇場・わくわくステージなどにおいて、多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの取組を継続して進めていく。

(取組例)

- ・視覚障害のある方向けに音声ガイド付き公演
- ・聴覚障害のある方向けに公演の音声情報の字幕表示等
- ・公演台本・ヒアリンググループ・骨伝導補聴器の貸出
- ・受付での手話通訳、筆談対応、舞台の立体模型に触れてもらう 等

(イ) 演劇指導（演劇ワークショップ）

ピッコロ演劇学校、県立宝塚北高校（演劇科）、県立教育研修所、兵庫県自治研修所等へ劇団員を指導者として派遣するとともに、演劇の裾野の拡大をめざし、演劇を身近に感じてもらうため、県内各地でワークショップ等を開催する。小学校などでは演劇ワークショップ「あつまれ！ピッコロひろば」を実施する。

併せて、児童養護施設や日本語に不慣れな外国人などへの社会包摂活動につながる演劇ワークショップなどの取組も継続して進めていく。

(ウ) 外部出演

他劇団、放送局等の依頼を受けて、演劇公演、映画、放送等に出演。

(エ) ピッコロサポートクラブへの支援

ピッコロ劇団の活動を地域全体で支援するため、平成8年に尼崎商工会議所等が中心となって設立された後援会組織であるピッコロサポートクラブの活動を支援するとともに、情報誌「i n t o」を共同発行する。

(a) ピッコロサポートクラブ会員 345 口（令和3年1月末現在）

種類	年会費
法人会員（企業・団体向）	20,000 円
個人会員（特別会員）	10,000 円
個人会員（A会員）	6,000 円
個人会員（B会員）	2,000 円
個人会員（J会員高校生以下）	4,000 円

〔特典〕

- ・ピッコロ劇団公演への招待または入場料割引、先行予約
- ・情報誌「i n t o」、稽古場見学会や劇団員との茶話会等の催し物案内の送付
※令和2年度は、コロナ禍での試みとして「オンライン交流会」を12月6日に開催した。
- ・演劇、落語会等ピッコロシアター自主事業の入場料割引、先行予約等

(b) 情報誌「i n t o」の発行

ピッコロ劇団公演の紹介をはじめ、劇団員の活動、ピッコロシアターでの催し物等の情報を提供する。

A5版／20 ページ（カラー印刷） 年4回／各4,000部

3 人材育成・体験活動事業

① ピッコロ演劇学校の運営

地域文化を高める演劇創造に参加しようとする若者たちに、夢を与え、表現力や創造力、コミュニケーション力を身につけさせることで、人間性豊かな人材を育成する。

【期 間】 令和3年4月～4年3月

（令和2年度はコロナ禍により9月～3月の短縮した体験プログラムとして実施）

【場 所】 ピッコロシアター

【授 業】 原則として毎週2回（火・木の夜間）と年数回の特別講義
特別講師：岩松 了、平田 オリザ、鐘下 辰男、伊藤 惣一など

【募集人数】 本科40名、研究科20名

【上演実習】（本科） 合同発表会、卒業公演[舞台技術学校と合同製作]
（研究科） 合同発表会[舞台技術学校と合同製作]、卒業公演

② ピッコロ舞台技術学校の運営

クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設の活性化のため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術人材を育成する。

【期 間】 令和3年4月～4年3月

(令和2年度はコロナ禍により9月～3月の短縮した体験プログラムとして実施)

【場 所】 ピッコロシアター、芸術文化センター (学外授業)

【授 業】 原則として毎週2回(水・金の夜間)と年数回の特別講義
特別講師：服部 基、山北 史郎、堀尾 幸男など

【募集人数】 美術、照明、音響 計30名

【上演実習】 クラシックコンサート実習、軽音楽ライブ実習、合同発表会[演劇学校研究科と合同製作]、卒業公演[演劇学校本科と合同製作]

③ ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

ピッコロ演劇学校生及びピッコロ舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となった者や、県立ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行って者など、優れた演劇活動を行った者に「ピッコロ・山根演劇賞」を贈呈する。

【時 期】 令和4年3月

④ ピッコロシアター文化セミナーの開催

著名な舞台人の芸談、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの文化セミナーを開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を図る。

【場 所】 ピッコロシアター大ホール

【回 数】 2回

事 業 名	期 日	出演者等
<99>ピッコロシアター文化セミナー 三世 茂山千之丞さんに聞く 「未来の狂言に向けて」 (注)令和2年度に実施予定であったが、コロナ禍により3年度に延期	3. 6. 5(土)	出演＝三世 茂山千之丞(狂言師) 聞き手＝亀岡典子 (産経新聞社文化部編集委員)
<100>ピッコロシアター文化セミナー 小曾根 真さんに聞く 「音楽のある人生」(仮題)	3. 7. 18(日)	出演＝小曾根 真(ジャズピアニスト) 聞き手＝三崎 力 (新国立劇場演劇プロデューサー)

⑤ 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、トライやる・ウィーク、インターンシップをはじめとした研修生(中・高・大学生等)を年間を通して内外から受け入れる。

(令和2年度はコロナ禍により受入中止)

⑥ ピッコロ実技教室の開催

夏休期間中に伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。

事 業 名	期 日	出演者(指導者)等
ちやっと！狂言～入門編～	3. 8. 14(土)、 15(日)	講師：大蔵流狂言方 善竹隆司・善竹隆平
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ 〈壁新聞を演じてみよう〉	3.8.20(金)	講師：ピッコロ劇団員
高校生のための演劇講座	3.8.24(火)	講師：兵庫県高等学校演劇研究会阪神支部加盟の教諭(演劇部顧問)ほか

オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 「第57期生による修了オペラ」 (演目は調整中)	オペラの楽しみ方 3.8. 27(金)	講師: 関西二期会理事
	オペラ公演 3.8. 28(土)	関西二期会オペラ研修所 第57期生 ほか

4 施設の管理運営事業

① 兵庫県立尼崎青少年創造劇場の施設管理

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、広く県民文化の高揚を図るため設置された「県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）」の指定管理者として、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術の練習・発表の場である劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 ・大ホール（客席数396席） ・中ホール（収容200人）
・小ホール（収容100人） ・楽屋（6室） ・練習室（3室）
・資料室（閲覧室、書庫） ・舞台美術工房

(参考) 近年実施した主な施設改修

- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベータを設置(R2)
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備(R1-2)
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上(R1-2)
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備(R1)
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置(H29-R1)

② 情報の提供

(ア) 演劇等舞台芸術関係資料の提供

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、ピッコロシアター資料室において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行うとともに、照会にも迅速に対応する。

(注) ピッコロ劇団初代代表、故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約5,500冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

(イ) ピッコロ・ホームページの運営

令和2年7月にピッコロシアターのホームページをリニューアル、より見やすく分かりやすいレイアウトとなるようデザインを一新、スマートフォンからのアクセスの改良などを行った。今後とも情報発信力の充実を図る。

※新URL <https://piccolo-theater.jp>

- ・主催事業（公演や募集情報等）がよりタイムリーに伝わるようビジュアルを工夫
 - ・『今日の劇場』を、貸館情報も含め日々の劇場の動きが分かるレイアウトに更新
 - ・スマートフォン、タブレット端末等にも対応するレイアウトにしてPR効果を向上
 - ・フェイスブック、インスタグラム、ツイッターを活用したSNSにより発信
- (内容) * 公演&参加する 公演・募集情報、月間スケジュール 等
* 劇場を知る&使う フロアガイド、利用案内、空き状況 等
* ピッコロ劇団 劇団員プロフィール、上演記録 等
* ピッコロ演劇学校&ピッコロ舞台技術学校 学校案内、学校Q&A 等

(ウ) 芸術文化情報コーナーの運営

劇場内2カ所に県内外の芸術文化公演や劇場・劇団の等のチラシ、パンフレットを見やすく配置し、来場者へ多くの芸術文化情報を提供する。

〔県立美術館王子分館関係〕

県立美術館王子分館の管理・運営

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館での展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家や県内芸術文化団体の発表の場としての役割を果たせるよう管理・運営に努める。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室、収蔵庫）
東館（1・2階展示室、収蔵庫地下1階・地下2階）
会議室（2室）、講義室等（3室）
〈横尾忠則現代美術館〉 アーカイブルーム、展示室（2・3階）、
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、
インフォメーション、収蔵庫（地下1階）
〈喫茶棟〉
〈附属駐車場〉 31台（時間貸し）

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリー等の実施

当施設は、公立美術館としては全国最大規模のギャラリーを有している。明るく開放的かつ快適な空間の展示室が利用者から好評を得、高い利用率を保っている。

ホームページやSNS媒体等による広報を行い、絵画教室に加え、コンサート等多様な創作・発表活動の場を提供し、コロナ対策を徹底しながら、より一層の利用促進に努める。

（2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、利用団体代表者を含む運営委員からの助言・提言を得るギャラリー運営会議を実施する。

（3）情報の提供・広報

① ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp/harada>)

【内容】施設概要、展覧会情報、利用案内、空室情報 等

② SNSの運用（フェイスブック、ツイッター、Instagram）

【内容】即時性のある展覧会情報、イベント情報 等

③ 催し物案内の配布

【内容】近隣文化施設、公共施設、他関係施設等への配布

④ 図書閲覧コーナーの充実

【内容】1階フロアに書架を設置し、展覧会図録や美術関連書籍を自由に閲覧できるとともに、展覧会案内ハガキ、パンフレットを見やすく配置し、来館者に多くの文化情報サービスの提供を行う。

（コロナ対策のため、図録・書籍の閲覧は停止中）

⑤ 障害者アート作品の常設展示場

令和2年10月に障害者芸術作品常設展示場「兵庫県障害者アートギャラリー」がオープン。全国的にも珍しい、美術館内での常設展示を2～3カ月毎に作品を入れ替えて展示を行う。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

横尾忠則氏の優れた作品等について広く県民に鑑賞する機会を提供するため、横尾作品を中心とする魅力ある展覧会を実施するとともに、『横尾芸術の一大拠点』として、横尾氏による公開制作や著名人との対談などのほか、企画に即した展覧会関連事業、ワークショップ、オープンスタジオコンサート、パフォーマンスなど、多様な表現手段を用いた美術館広報を展開し、若い世代をはじめとした新たな来客層への訴求にもつながる魅力を、当館らしく発信していく。

他方、動画配信等の充実により美術館への関心をつなぎ留めるなど、今後も続くであろう”With Corona”を踏まえた事業を実施していく。

また、横尾作品に影響を与えた世界の著名芸術家の寄贈コレクションを展示するため整備した横尾忠則コレクションギャラリーと眺望を活かした休憩コーナーが、令和3年3月27日にオープンすることから、これらを活用し、人と地域をアートでつなぐまちづくりの拠点として、エリア全体の魅力向上を図ることとする

さらには、令和3年1月に開幕した愛知県美術館を皮切りに、東京都現代美術館、大分県立美術館において巡回開催される横尾氏の大回顧展「Genkyo 横尾忠則」はもとより、令和4年春に予定されている上海当代芸術博物館での大規模回顧展に所蔵・寄託作品の貸出や情報提供するなど、国内外への横尾忠則現代美術館の存在感をアピールする。

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	第1期企画展	「Curators in Panic ～ 横尾忠則展 学芸員危機一髪」展
会 期	令和3年3月27日（土）～8月22日（日）128日間 （於：2・3F展示室）	
内 容	令和3年1月から国内外で開催される横尾氏の大規模な回顧展のため、当館収蔵庫から約140点もの作品が消え、企画を担当する学芸員にとっては、パニック状態。選抜メンバーを逃した作品の中から学芸員3名がそれぞれの「押し作品」を日ごろの調査における発見や展覧会でのエピソードを語る。	
共 催	神戸新聞社	
関連事業	キュレーターズトーク、ワークショップ等	

展覧会名	第2期企画展	「横尾忠則の恐怖の館」展
会 期	令和3年9月18日（土）～令和4年2月27日（日）133日間 （於：2・3F展示室）	
内 容	我々は未知のものに対してしばしば恐怖を抱く。それは好奇心と表裏一体であり、怖いけど見たい、といった感情をも誘発する。横尾忠則は見えるものや科学で説明できる領域外にも深い関心を寄せており、その作品世界は必然的に「恐怖」や「好奇心」と密接に関わっており、その作品を通じて「芸術」と「恐怖」との関係性について考察する。	
共 催	（調整中）	
関連事業	キュレーターズトーク、ワークショップ等	

展覧会名	収蔵品展	Yokoo Tadanori Collection Gallery 2021
会 期	令和3年3月27日（土）～8月22日（日）128日間（前期） 令和3年9月18日（土）～令和4年2月27日（日）133日間（後期） （於：4F横尾忠則コレクションギャラリー）	

内 容	横尾忠則の手もとに保管されてきた様々なアーティストの作品やコレクション、アーカイブ資料などを交えた多彩な展示を行う。前期は、開館以来横尾がデザインを手がけてきた歴代ポスターを一堂に展示する。
-----	---

(2) 横尾忠則コレクションギャラリー・休憩コーナーのオープン

横尾忠則コレクションギャラリーとともに整備した休憩コーナーでは、美術館4階から見える実際の景色（新婚時代の横尾夫妻の住居周辺）と、これを撮影した写真、およびミラーに映る鏡像により、横尾作品特有のめくるめくようなコラージュの世界が実体化された空間をお楽しみいただける。

(3) 貴重なアーカイブ資料の整理・公開・展示

アーカイブでは、横尾氏のもとに保管されていたイラストやポスター、デザイン原稿はじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品など多岐にわたる資料を受け入れ、順次、整理・公開していく。

資料整理をより円滑に行うため、博学連携として甲南大学（令和2年度 11名）の博物館実習生を平成26年度から受け入れている。

※ 武蔵野美術大学美術館・図書館と掲載雑誌資料の調査及びデータベース構築を目的とした共同調査事業を行ってきた連携事業は調査完了により令和元年度で終了

※ 令和2年度の神戸芸術工科大学インターンシップ生の受入れは、新型コロナウイルス感染拡大により大学側から辞退の申出があり中止

① 整理

整理済み資料に関する情報は、検索システムで検索が可能

※ 登録済の資料：3,304点(令和3年1月末)

② 公開

整理済み資料については閲覧に供する。(無料、要予約、個人への貸出不可)

※ 新型コロナウイルス感染症対策及び工事期間中のため、令和3年3月26日まで利用停止中

③ 展示

企画展等での展示に供している。

(4) 作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料の劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努める。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら、展示・他館貸し出し等に応じ、修復措置を行っている。（2年度：132件実施）

(5) オープンスタジオ等を活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

横尾氏本人による公開制作（コロナの状況に応じてZ o o m等による配信を含む）、企画展ごとに横尾氏と密接な関係のある著名人とのトークショーやライブ、キュレーターズトーク、ワークショップのほか、テーマに合わせたクイズ大会や講演会等を開催する。

② オープンスタジオコンサート

協会本部のアーティストサロン及び芸術文化センター楽団部の協力を得て、県内を中心に活動する優れた音楽家等によるコンサートやアーティストによるパフォーマンスを実施し、美術館のにぎわいづくりと新たなファン層の拡大をめざす。

※ コロナ禍においては、人数制限による開催のほか、オープンスタジオ内での演奏会という形式にとらわれることなく、前庭や隣接する原田の森ギャラリーの活用も含め、柔軟に多彩なジャンルを取り入れたイベントを催し、賑わいづくりを

展開していく。

③ ユーチューブでの動画配信事業等

公式ユーチューブチャンネル（令和2年8月開設）において、ギャラリートーク（字幕：日・英）のほか、展示室の横尾作品をバックにしたパフォーマンスなど、コロナ禍ならではの映像の制作・配信等を行っていく。

（6）連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

（ア）地域住民・商店街等との連携

ポスター・チラシ配布、地域イベント（灘区総合芸術祭、六甲ファミリーまつり、美かえるカラフルマルシェ）でのPRや地域の子どもたち向けのワークショップの開催、水道筋商店街・王子動物園（令和2年度に連携協定を締結）等とタイアップしたイベント等の実施

（イ）周辺施設との連携（神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等）

- ・ 相互のポスター・チラシの掲示・設置、開会式への招待等を実施
- ・ 六甲ファミリーまつりや灘区総合芸術祭等への参画

② 学校との連携

- ・ 芸術系大学を中心に団体受け入れ、学芸員の案内を実施
- ・ 地元高校の美術部員等を展覧会に招待
- ・ 神戸芸術工科大学卒展時の無料見学
- ・ 学芸員によるアウトリーチ活動（出前講座、オンライン授業等）

③ 他館との連携

（ア）神戸市内美術館で構成する「KOBE MUSEUM LINK」との連携

共同ホームページの作成、J:COMでの館情報動画配信、ロゴ展開による広報等

（イ）ミュージアムロードを構成する主要文化施設

県立美術館本館、原田の森ギャラリーはもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスター掲示、チラシの設置、県立美術館とは半券提示で割引制度を相互に協力している。

（ウ）国内外の美術館等

豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、国立新美術館、東京都現代美術館、愛知県美術館、上海当代芸術博物館等、国内外美術館等との広報連携を推進していく。

（7）情報の提供・広報

マス・メディアや交通広告はじめ、インターネットの活用など様々な媒体を通じて広く広報を実施。また横尾氏の国内外での知名度・評価も高いことから、全国誌への掲載働きかけや展覧会図録の英語バージョンや多言語発信など国際広報にも努める。

① 知事定例記者会見での発表、記者説明会の開催

② テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞等マス・メディアの活用

③ 美術手帖、芸術新潮・婦人画報・るるぶ等芸術・旅行分野の全国紙掲載働きかけ

④ インターネット等による当館情報発信

ホームページ（令和3年3月にリニューアル／多言語対応）、YouTubeチャンネル、ツイッター、フェイスブック、メールマガジン、美術館ニュース、インスタグラム、ブロッガー・インスタグラマー向け内覧会の開催

⑤ 交通広告等による広報

JR、阪急、山陽への広報、三宮センター街・JR三宮駅交番北側への看板掲出、ICOCA/JAFとの提携・割引を実施するほか、訪日外国人が多く利用する神戸シティーループバスへの広告掲載を行う。

⑥ 横尾氏本人によるPR

テレビ出演、雑誌対談、ツイッター（32.6万フォロワー）などのほか、横尾氏の

コラボ・ブランド(GUCCI、ISSEI MIYAKE、UGG、SWATCH等)を当館広報に活用

- ⑦ 館長によるトップセールス(テレビ、ラジオへの出演、講演会におけるPR)
- ⑧ キャッシュレスへの対応
ローソン・チケット、楽天レジャーチケット、JTB電子チケットでの前売・当日券の販売、クレジットカード等によるキャッシュレスチケット販売の実施
- ⑨ 書店との連携
書店(ジュンク堂、喜久屋書店)での図録の委託販売やしおり(割引券)の設置

〔本部関係〕

新型コロナ感染症への対応はまだ予断を許さない中で「芸術文化は人間が人間らしく生きるための糧となるもの」との観点から、万全の対策をとったうえで、できる限り事業の実施を目指していく。

主催事業では、県民会館ロビーコンサートに加え、新たに県内の市町施設等でのロビーコンサートの開催により、新進芸術家や地元ゆかりの芸術家の発表機会の増加に努める。また、伝統文化体験教室や伝統文化学び塾の一層の充実を図り、伝統文化の普及促進を強化していく。

芸術文化団体等との連携事業では、令和2年度は、半数が中止となったふれあいの祭典事業についても、可能な限り開催できるよう主催団体と連携を図っていく。また、地域文化を考えるシンポジウムについては、地元の熱い思いから、令和2年度に中止となった但馬地域で開催する。

ひょうごアーティストサロンについては、引き続き専門人材を配置し、リサイタル等を実施するほか、新進・若手アーティストのデータベース管理により情報提供を行うアーティストバンクの運用を開始する。

広報については、ホームページをスマホ対応にすることに加えて、SNSでの情報発信をより活発なものとする。昨年に続き、動画アーカイブの充実を図るほか、バーチャルギャラリー“Walk 360”を活用した主催事業を発信する。

芸術文化普及啓発事業

1 主催事業

(1) 芸術文化活動の表彰事業

① 第40回ふるさと文化賞の贈呈

地域において永年にわたり、伝統文化の継承、ふるさと文化の高揚に多大な貢献をされた個人、団体を顕彰するため、「ふるさと文化賞」を贈る。なお、伝統文化ふれあい広場で発表の場を提供する。

【件数】 3件以内

② 亀高文子記念－赤艸社賞の贈呈

絵画の創作を通じて、県民文化の高揚に功績のあった女性洋画家を顕彰するため、「亀高文子記念－赤艸社賞」を贈る。なお、特別展示室のロビー側壁面を利用し、受賞者記念展を開催する。

【件数】 2件以内

【副賞】 30万円

③ 坂井時忠音楽賞の贈呈

県内における音楽活動に優れた業績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される音楽家を奨励するため、「坂井時忠音楽賞」を贈る。なお、リサイタルシリーズへの出演機会を提供する。

【件数】 2件以内

【副賞】 30万円

④ ひょうごアーティストサロン賞の贈呈

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家及びサロンの企画・運営に協力的な指導者を顕彰するため「ひょうごアーティストサロン賞」を贈る。なお、平成28年度から令和2年度までの造形芸術分野の受賞者による新進美術作家作品展を開催する。

【件数】 3件以内（アーティスト部門2件、協力者部門1件）

(2) コンクール、展示事業

① 第33回全国手工芸コンクール in ひょうご

女性を対象とし、ふだんの生活から創りだされた、ぬくもりのある手工芸作品を全国から募集し、優秀作品を表彰する。

【会 期】 令和3年11月19日(金)～21日(日)

【会 場】 原田の森ギャラリー

② 第27回兵庫ふれあい美術展(拡充)

アマチュア対象の公募展である鈴懸の径絵画展と統合し、小作品コーナーを設けるなど同展の趣旨を生かした形で、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真を公募し、優秀作品を表彰する。

【会 期】 令和3年12月24日(金)～26日(日)

【会 場】 原田の森ギャラリー

③ 第59回 2021県展

絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、優秀作品を表彰する。

【会 期】 令和3年8月7日(土)～21日(土)

【会 場】 原田の森ギャラリー

【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

④ 兵庫県民会館文化教室総合展

兵庫県民会館で実施されている、美術・書道等さまざまなジャンルの文化教室の作品を一堂に集めPRするとともに、受講生の交流、賑わいを醸成する。

【会 期】 令和4年3月19日(土)～21日(月)

【会 場】 兵庫県民アートギャラリー

⑤ 新進美術家作品展(アーティストサロン事業)

県内各美術団体の協力を得て、芸術文化コーディネーターのもと、新進作家を中心とした作品展を開催する。

・ひょうごアーティストサロン内ギャラリー

作 品 展	開催時期(2ヶ月程度)
兵庫二紀会選抜展	4月～5月
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	6月～7月
兵庫県美術家同盟新進作家展	8月～9月
兵庫の工芸壁面を飾る	10月～11月
兵庫県書作家協会選抜展	12月～1月
兵庫県日本画家連盟新進作家展	2月～3月

・県民アートギャラリー特別展示室

作 品 展	開催回数等
新進美術作家作品展 (工芸、サロン賞受賞者記念展、彫刻)	年3回(各5日間)

・県民アートギャラリー大・中展示室

作 品 展	開催時期
兵庫県美術作家交流展-新進・選抜・プラス	12月(5日間)

(3) 主催公演事業

① 県民芸術劇場

小学校、高校、公立文化施設が公演団体作成のPR動画等により選択した舞台芸術を鑑賞、参加体験する機会を提供するとともに、県内芸術文化団体等の育成、公立文化施設の活性化を促すことにより県民文化の高揚を図る。

【時 期】 通年

種別	開催場所	公演数(予定)	公演内容
一般公演	市町文化会館等	12	オーケストラ、室内楽、声楽、打楽器、演劇、ミュージカル、舞踊、バレエ、人形浄瑠璃、能楽、狂言、落語等
学校公演	小学校 高等学校等	73	
合計		85	

② 市町ホール活用支援事業

市町ホールの活性化、人材育成、県内公立文化施設間の連携強化を図るため、県内2市町の公立文化施設（市町ホール等）が、音楽や演劇等の大型自主公演を共同で企画する同一内容の自主公演事業を支援する。

【採択件数】 4件（8公演）程度 【対象経費】 公演出演料
【助成額】 1公演あたり200万円上限（負担割合 県：施設①：施設②＝1：1：1）

③ 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティストのコンサートを開催する。

また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを飾り、伝統文化の紹介に資する。

【時期】 原則毎月第2土曜日
【会場】 兵庫県民会館1階ロビー

④ 県内芸術家ロビーコンサート（新規）（アーティストサロン事業）

県・市町の文化施設等における新進芸術家等によるロビーコンサートを実施することで、コロナ禍で少なくなった発表と鑑賞の機会を創出する。

【回数】 20公演程度
【会場】 県市町文化施設

⑤ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県出身、在住、在勤、在学で芸術文化活動をする概ね45歳未満の個人及び団体で、今後の活躍が期待される新進芸術家に発表の場を提供する。

また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを飾り、伝統文化の紹介に資する。

【回数】 毎月1回程度
【会場】 兵庫県民会館けんみんホール

（4） 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに喜び、感動を求め、歴史や文化に深い関心を寄せる県民の学習意欲に応えるため、多彩な講座で構成する兵庫県生活文化大学を開催する。

なお、政府や県の新型コロナウイルス感染症対処方針や各種ガイドライン等を踏まえて、飛沫拡散防止や検温など適切な対策を講じたうえで実施する。

講座名		開催地	会場	期間・回数(回)
神戸校	文化財	神戸市	兵庫県民会館	4～2月 10
	考古学 (県立考古博物館)			4～2月 10
	日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			9～2月 6
	西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月 10

	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館 ひょうご歴史研究室)			4～2月	10
	音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)			5～2月	10
明石校	ふるさとの歴史 (明石市)	明石市	明石市生涯学習センター	4～2月	10
姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市	県立歴史博物館 日本城郭研究センター	9～3月	7
合計				8講座	73回

② 地域と暮らしの兵庫学

田辺真人 園田学園女子大学名誉教授を講師に迎え、兵庫県の風土が生み出した独自の地域文化や生活文化の中から、古くから伝わる伝説や歳時記、伝承行事の様式の考察を交えて改めて歴史的に県域を考える。

【時期】 令和3年9月頃～令和4年3月（全4回）

【会場】 兵庫県民会館けんみんホール

③ 伝統文化ふれあい広場（伝統文化体験フェスティバルの改編）

誰もが気軽に様々な伝統文化を一度に「する」「みる」ことができる機会を提供し、伝統文化の裾野の拡大を目指す。

また、開催日の参加団体数を減らし（団体の参加を2日参加から1日参加へ）、ブース間の間隔を拡大することにより、密を回避し、実施する。

【時期】 令和4年3月5日（土）～6日（日）（予定）

【会場】 兵庫県公館

④ 伝統文化体験教室（拡充）

伝統文化をより深く体験できるよう県公館和風会議室を利用した体験教室を開催する。

【時期】 令和3年5月～令和4年2月

【会場】 兵庫県公館 和風会議室等

【内容】 茶道、能楽、箏、日本舞踊、須磨琴、長唄、シャドーボックス、三味線、いけばな

⑤ 伝統文化学び塾（拡充）

伝統文化ふれあい広場等による体験機会により生まれた伝統文化にかかる探求心や技能習得への意欲を伝統文化の普及促進や人材育成に繋げるため、習い事として複数回の受講が可能な講座を展開し、舞台等で発表する。

【時期】 令和3年7月～令和4年3月

【会場】 練習 兵庫県公館 和風会議室

発表 兵庫県立芸術文化センター、県公館（伝統文化ふれあい広場会場）

【内容】 箏コース、長唄コース、一絃琴コース

⑥ 友の会事業の推進

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいつくりと会員相互の交流を図るため、友の会事業を推進する。

なお、移動中や食事時の感染リスクが高い「ふれあいの旅」「ふるさと文化紀行」等の旅の企画は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めたうえで、実施の適否の検討を行う。

【名称】 兵庫県芸術文化協会友の会

【種類】 個人会員

(会費： 3,000円)

ファミリー会員（同一世帯・2人まで）（会費： 5,000 円）
 団体会員（会費： 10,000 円）

- 【特 典】・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）
 ・生活文化大学の受講料等割引
 ・文化関係図書頒布価格割引
 ・提携劇場指定公演チケットの斡旋・割引など

2 芸術文化団体等との連携事業

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

県内7地域の文化団体協議会等と協会で組織する兵庫県地域文化団体協議会の事務局を運営し、情報や課題の共有、共同事業の実施など地域文化の活性化を図る。

① 地域文化団体との共同事業

*

県内7地域の文化団体協議会等と協力し、地域伝統文化事業をはじめ、各地の自主的な芸術文化事業を開催するとともに、文化情報紙「すずかけ」で地域の代表者や文化事業を紹介することにより、地域イベントへの参加者の増員を図る。

【対 象】地域文化団体7団体

【内 容】

- 阪神南文化振興団体連絡協議会…「アルカディア盲導犬とともに音楽を愛でる会コンサート」の開催
 阪神北文化振興団体連絡協議会…「阪神北文化フェスタ」（仮称）の開催
 東播磨文化団体連合会……………東播磨文芸誌「東はりま文化子午線」第45号の発行
 西播磨文化協会連絡協議会……………「西播磨地域ふれあい文化交流会」の開催
 但馬文化協会……………但馬文学のつどい「たじま作品集～短詩型文学～」第46集の発行
 丹波文化団体協議会……………「丹波における伝統文化体験フェスティバル」の開催
 淡路文化団体連絡協議会……………「淡路文化の祭り」の開催

② 地域文化を考えるシンポジウム

県内市・町文化協会長等が一堂に会し、シンポジウムを通じて地域の文化活動を語りあい、芸術文化情報の交換と連携の輪を広げ、地域文化の活性化と県民文化の向上を図る。

【時 期】令和3年11月16日（火）

【会 場】あさご・ささゆりホール（令和2年度から延期）

【テーマ】「文化活動を活かした魅力あるふるさとづくり」（仮称）

(2) ふれあいの祭典－県民文化普及事業

*

芸術文化団体が、市町及び兵庫県の協力を得て実施する「ひょうご演劇祭」等「令和3年度ふれあいの祭典－県民文化普及事業」（22事業）について、広報宣伝・観客誘致、開催記録等を担当する。

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
1	ひょうご演劇祭	兵庫県劇団協議会	西宮市
2	ひょうご邦楽の祭典	兵庫県箏絃連盟	西宮市
3	ひょうご吟剣詩舞道祭 #	兵庫県吟詠連盟、 兵庫県吟剣詩舞道総連盟	尼崎市
4	和太鼓フェスティバル in 兵庫 #	兵庫県太鼓連盟	洲本市
5	アンサンブル・フェスティバル兵庫	兵庫県音楽活動推進会議	赤穂市
6	音楽とダンスの祭典 in Hyogo #	兵庫県ダンススポーツ連盟	神戸市

7	ひょうごブラスフェスティバル	兵庫県吹奏楽連盟	姫路市
8	詩のフェスタ ひょうご	兵庫県現代詩協会	神戸市
9	ひょうご名流舞踊の会 #	兵庫県舞踊文化協会	神戸市
10	ひょうご洋舞フェスティバル #	兵庫県洋舞家協会	西宮市
11	ひょうご大茶会 #	兵庫県茶道協会	神戸市
12	ひょうご日本民謡フェスティバル	日本民謡民舞兵庫県連合会	神戸市
13	全国手工芸コンクール in ひょうご	兵庫県婦人手工芸協会	神戸市
14	兵庫県いけばな展（神戸展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	神戸市
15	ひょうご俳句フェスティバル #	兵庫県俳句協会	神戸市
16	兵庫県いけばな展（地域展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	洲本市
17	兵庫県交響楽祭 #	兵庫県オーケストラ協議会	西宮市
18	兵庫県川柳祭 #	兵庫県川柳協会	加古川市
19	ひょうご合唱の祭典 #	兵庫県合唱連盟、 兵庫県児童合唱連盟	相生市
20	兵庫短歌祭	兵庫県歌人クラブ	未定
21	兵庫ふれあい美術展	(公財)兵庫県芸術文化協会	神戸市
22	ひょうご民俗芸能祭 #	兵庫県伝承民俗芸能文化協会	西脇市

注) #は令和2年度に中止になった事業

(3) ひょうご文化交流のつどい

*

県域文化団体協賛のもと、様々な分野の関係者が一堂に集い、交流・親睦を深める場を提供することにより、芸術文化活動の一層の発展を図る。なお、多人数が一堂に会する事業のため、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めたうえで実施方法の検討を行う。

【時 期】 令和3年12月

【場 所】 神戸市内

(4) 芸術文化団体等の事業への支援

県内で開催される文化振興に寄与する事業を支援するとともに、優秀作品に兵庫県芸術文化協会賞を贈る。

【後援名義】 年間約250団体

(5) 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者懇話会の事務局運営等の支援を通じて、芸術文化の振興を図る。

*…その他（芸術文化団体との連携事業）に区分される事業

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業（拡充）

ひょうごアーティストサロンに芸術文化コーディネーターに加え、専門人材を配して、新進・若手芸術家等に対する相談・助言や、発表の機会と場の提供などをより積極的に行うことにより、新進・若手芸術家の育成支援と地域における芸術文化活動のさらなる活性化を図る。

また、新進・若手芸術家の育成支援を図るために、様々な機会を通じた募金活動に継続的に取り組む。

(1) 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用されることにより、交流拠点としてのサロン機能を発揮する。

(2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する様々な相談に応じる。

また、県・市町および関係団体が主催するシンポジウム・セミナー・各種大会において、これらの事業に花を添えるような形で、県内のアーティストに参画していただく「ひょうごさわやかステージ」と冠したミニコンサートやミニ展覧会を斡旋することで、県民により多くの芸術文化に触れる機会を提供する。

(3) 若手アーティストの育成・支援

① 県民会館ロビーコンサート（再掲）

② 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）

③ アーティスト動画充実事業（新規）

県芸術奨励賞やひょうごアーティストサロン賞等の受賞者の動画を制作・配信し、多くの方に鑑賞の機会を提供するとともに、アーカイブとして活用する。

④ 新進美術家作品展（再掲）

⑤ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（再掲）

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

【仕 様】 タブロイド版 6 ページ

【内 容】 芸術文化協会の事業紹介、文化関係者の活動紹介、県内のイベント情報

【発 行】 毎月1回／5, 000部

【配布先】 文化会館、美術館、博物館等の文化施設、市町文化担当課、友の会会員ほか

(2) 文化情報の提供

兵庫県民会館に文化情報紙、県内施設等の催物案内チラシなどを配架し、多彩な文化情報を提供する。

(3) ホームページの運営（拡充）

協会概要や本部の情報提供のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、県民会館、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館の各ホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介することにより、施設、事業のPRとともに文化情報の蓄積・発信・共有を促進する。またネット上で展示品を鑑賞できるバーチャルギャラリー“Walk360”を活用した画像提供を令和3年度から運用をスタートする。

(公財)兵庫県芸術文化協会 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

【内 容】・協会の概要

・協会主催事業等の案内

・管理施設の案内

(4) その他多面的な広報活動

① SNSの運営（拡充）

・YouTubeチャンネルで動画配信をするほか、Twitter、Facebook、Instagramを活用して、情報発信を強化する。

② マスメディアによる情報提供の強化

・テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布など

③ 県広報媒体の活用

- ・兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」、サンテレビ県民情報番組「ひょうご発信！」兵庫県広報戦略課 Facebook「はばタンなび」等

④ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

- ・兵庫県生活文化大学で共催している県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等の施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行う。

公益目的以外の施設提供事業

1 施設の管理運営事業

兵庫県民会館

令和3年度から3年間（令和3年度～5年度）、引き続き指定管理者として、当協会が兵庫県民会館の管理運営を担うこととなっている。新型コロナウイルス感染防止対策として、令和2年度は、①会館出入口に、サーモカメラ・消毒液の設置や入退館動線の設定、②施設改修（トイレの水道蛇口・男性小便器のセンサー化等）、③会議室等利用者への感染防止対策の徹底及び対策物品の貸出、④「兵庫県新型コロナ追跡システム」QRコードの各会議室掲示などの対応を取り、利用者の安全・安心、利便性・サービスの向上を図ってきた。

令和3年度も新型コロナ対策に万全を期す一方、広く県民にホール・会議室等の施設を提供し、運営経費のコスト削減、経営の合理化に努め、9460万円を還付する（3月末に県と協定締結予定）とともに、芸術文化に親しむ環境のさらなる充実を図る。

また、県民会館の賑わいづくりとして、地下1階食堂が撤退したスペースへのイーフトインコーナーの設置や喫茶コーナーの充実、特別展示室の空き期間を活用して作品展示などを行うほか、館内のWi-Fi導入等による通信環境の向上や、社会実験としてけんみんホールの夜間利用料金の助成を行うなど、さらなる利用率の向上をめざす。

【所在地】 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【施設】

- ・パルテホール（11階）（定員 150人）
- ・けんみんホール（9階）（客席数360席）
- ・会議室（18室）
- ・集会室（3室）
- ・宴会室（3室）
- ・団体事務室（23団体）
- ・時間貸駐車場（37台）
- ・月極車庫（44台）
- ・営業店舗（2業者）
- ・アーティストサロン
- ・兵庫県民アートギャラリー
- 1階 特別展示室（78㎡）
- 2階 大展示室（346㎡）、中展示室（176㎡）、小展示室（50㎡）

(ア) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染防止のため、上記の取組に加え、毎月初日の一斉申込受付方法を事前申込方式への変更、利用料金支払のキャッシュレス化（PayPay導入）等の取組を進めるとともに、「3密」を避けるべく需要が増加しているオンライン会議に対応するため、館内のLANやWi-Fi等通信環境を改善する。

(イ) 会議室・ギャラリーの利用促進及び情報発信の強化

令和2年度に、照明のLED化やパネル等のリニューアル工事を行った県民アートギャラリーについて、令和3年3月に導入し、パソコンやスマートフォンで展示品を鑑賞できるバーチャルギャラリー“Walk 360”の運用等を通じて、一層のPRに努める。

令和2年度に一新した県民会館のホームページやSNSも活用し、空室情報、催物などの情報を提供する一方、ロビーにモニターを設置し、多彩な文化情報を提供する。

(ウ) 施設・設備の老朽箇所等の長寿命化と利用促進

新たに社会実験として、芸術文化関係者が、公演またはリハーサルや練習会場と

してけんみんホールを夜間に利用する場合、利用料金の50%を助成し、芸術文化の振興と、夜間利用率の引き上げを図る。また、老朽化した建物、設備を長持ちさせるための修繕工事や定期点検・メンテナンスを小まめに行う。

(エ) ギャラリー運営会議の開催

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議において、貸出計画案の承認を得る。

2 駐車場等

① 駐車場等の運営

各施設への来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

・兵庫県民会館	： (時間貸)	収容台数	37台
	(月極)	収容台数	44台
・芸術文化センター	： (時間貸)	収容台数	約100台
・県立美術館王子分館	： (時間貸)	収容台数	31台

② その他、施設利用者の利便向上への取組

- ・喫茶、レストランスペースの貸出（兵庫県民会館、芸術文化センター、ピッコロシアター、横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズのショップ設置・運営（芸術文化センター、横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置（兵庫県民会館、県立美術館王子分館）
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売（兵庫県民会館）